

令和3年度 第一回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会

＜議事要旨＞

■日 時：令和3年6月22日（火）14：40～16：30

■場 所：国営海の中道海浜公園事務所

■主な意見等

1) 公園の利用状況、今後の協議会の進め方について

2) 各主体における今年度の取組内容について

- ①参考資料7を5月17日にプレスリリースにしたようだが、メディアの反応を伺いたい。[有識者]
→マスコミ等から取材があり、新聞記事も掲載された。その他、関心を持った事業者や旅行会社、飲食業の方から多く連絡頂いた。[園内関係機関]
- ②ブルーシーフード、ディンギーヨット、海の駅とはどのようなものか。[有識者]
→ブルーシーフードは、海で捕れた新鮮な魚をつかった料理教室であり、“ブルー”は、海のイメージでつけたものである。ディンギーヨットは、エンジンの無い小さいヨットのことである。海の駅は、船が係留でき、トイレ、電話を備えていれば加盟できる。漁港やプレジャーボートの係留施設、船を係留できるレストランなどが加盟している。加盟されている数は全国で約140程度と認識している。
[園内関係機関]
- ③個別の機関の取組は理解したが、連携した事業、プログラムなどをどのように展開するのか、連携による相乗効果などをどのように生み出していくかなど、考えがあれば伺いたい。[有識者]
→管理センターからの報告のように、「うみなかたび」は各機関から情報をまとめ、連携して行うものである。コロナ禍で連携会議ができていないこともあり、具体的にはこれから進めていく。具体的にになれば、相乗効果とあわせて報告させていただく。[公園管理者]
→緩くても連携し、思考錯誤していけば、相乗効果も期待できるので、ぜひ進めてほしい。「うみなかたび」のHPは魅力があると思うので、これをプラットフォームにいろいろと展開していただければと思う。また、公園の外との連携についても、見取り図があると分かりやすい。[有識者]
- ④一つのアイデアとして、「ヘルスツーリズム」の展開があると思う。気候療法、海岸のエアロゾルを利用した空気浴などである。今までの戦略には入っていなかったと思うが、プログラムとしてはこの立地を生かしたものとして可能性があるのではないか。[有識者]
→健康も重要なテーマと認識している。本公園の売りは、自然の中で健康運動ができる場所であり、これから各機関と議論するとともに、関係する事業者の情報等も収集していきたい。[公園管理者]
- ⑤資料1の中で、園内での会議の体制が示されているが、これらと「うみなかたび推進会議」の連携はどのような形になるか。[有識者]
→うみなかたび推進会議は、利用促進部会を活用しており、同部会に担当者が出席して具体的な話をしている。地元商工会や福岡市などとも連絡・調整を行っていく予定である。[園内関係機関]
- ⑥「うみなかたびポータルサイト」へのアクセス数を教えていただきたい。[有識者]
→開設後、緊急事態宣言を踏まえて一旦アクセスを遮断した為、現在の具体的な数字は確認できていない。ただし、サイトの中に、志賀島など地域のスポットの写真をSNSにアップしていただくコーナーを設けており、すでにいくつかアップされている状況を確認している。サイトの目的は、地域の様々な施設を知っていただき、地域一帯を利用いただくことである。単なる各施設の情報サイトにな

らないようにしたい。[園内関係機関]

⑦海の中道駅口では、イベントや食べる場所、モビリティでの移動方法など、ポータルサイトと連携し、発信できればよいのではないかと。今後、B地区に新しい客層も来ると思うが、例えば「B地区のあとに、C地区へ」のような、より楽しめる公園の使い方も発信していければよい。[有識者]

⑧クロマツの植林地について、現状を教えてください。[有識者]

→D地区で植林しているクロマツは、様々な策を講じているが、順調とは言い難い状況である。ただし、土堤を設け内側に植林した場所では、比較的良好な結果を得ている。今後も試行錯誤が必要と考えている。[公園管理者]

⑨パーソナルモビリティの実証実験の結果を教えてください。[有識者]

→利用者へのアンケート結果をみると、利用者は、若い人やカップルが多く、90%以上が「また利用したい」と回答。利用時間は、1時間と3時間を設定したが、1時間利用がメインであった。なお、台数は40台を用意し、速度は時速15kmと設定し、安全性にも問題なかった。今後は、園内での利用区域の拡大や、受付方法の簡略化(LINEによる受付等)等を行っていきたいと考えている。本年の夏休みに再度試行を行う予定。[園内関係機関]

→今後、開園区域が広がるので、導入を進めてもらいたい。[有識者]

3) 福岡型ワーケーションの取組について

①ホテルでは、今でも企業の会議や研修に使われている。MICEにも関心をもっているが、福岡市として、MICEの取り込みに関わる民間への助成などを行っているか伺いたい。[園内関係機関]

→MICE推進課にて対応している。条件があるが、会議の環境整備などに対し助成を行っている。[オブザーバー]

②こうした取り組みを進めるためには、ネット環境の整備など、施設側の受け入れ環境整備が重要である。[有識者]

→受け入れ環境の整備支援についても、並行して取り組んでいるのでそれについても周知していきたい。[オブザーバー]

③福岡は、海が目の前で山も近い。そういう意味でもワーケーションとしては理想的な場所といえる。[有識者]

④スケールメリット、海があること、様々なタイプの施設があることなど、本公園の特性を踏まえ、一度ワーケーションとしてのモデルプランを公園関係者で検討してみてはどうか。施設や人材など、公園の資源を活用するために必要なものをチェックする意味でも有効であると考えている。[有識者]

4) その他

①かしいかえんの閉園にともない、本公園に何かしらの影響があるか。[有識者]

→客層は異なると考えており、特段影響はないと考える。[公園管理者]

以上

マリワールド海の中道

将来像 2:海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園

大項目:教育施設、環境学習フィールドとして活用

個別施策:環境共生の森での絶滅危惧種の保全、外来種の駆除

2021 年度取り組み進捗

【環境共生の森】



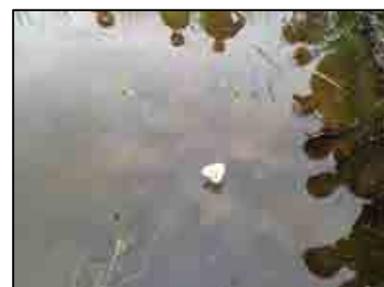
① 水田・稲作



② ヌマガイ池



③ ビオトープ 3 面(4×4m)



④ ニッポンパラタナゴ繁殖



⑤ 外来種駆除



【いこいの森:北エリア】

カスミサンショウウオ



保全囲い



【観察会】

水辺の生きもの観察会



カスミサンショウウオ観察会



海の中道青少年海の家

Since 1988. 7



所長 安部 倫太郎

海の中道青少年海の家 “スローガン”

「野外活動を通し感動を 感動を通して成長を」



目 標 ①

年間のべ利用者数

70,000人

2019年度	59,799人	
2020年度	5,693人	
2021年度	12,000人	10月現在

※5・6・8・9月の臨時休所の影響

目 標 ②

2021年10月現在

利用者満足度

目標

昨年実績

総 合

90%以上

97%

接遇に関して

90%以上

97%

提供プログラム

90%以上

92%

利用しやすさ

80%以上

93%

2021年度の取り組み 【公園の中の連携強化】

◆公園主催 アウトドアパークへの協賛

○キャンプサイトの活用

○ブース（クラフト作成）の出展

※コロナ禍によるイベントの中止 次年度に向け継続

◆マリーナとの新たな連携企画

○マリーナ実施のプログラム紹介

○海の家利用者への案内 カヌー・BBQ・クルージング

※チラシの作成 家族や団体への積極案内

海の中道青少年海の家 利用者皆様へ
海の中道マリーナ&テニスです！
クルージング カヤック体験 バーベキュー 3つの
プランをご用意しました！青少年海の家をご利用
頂いた方は料金を10%オフにさせていただきます！

クルージング料金(税込) (定員1~5名)
 博多湾内周遊 約40分
11,000円 → 9,900円

カヤック料金(税込) (定員2~5名)
 2人乗り 2,640円/1h → **2,376円** 小学生以上(成人同伴)
 1人乗り 2,200円/1h → **1,980円** 中学生以上
※1人300円の保険料が別途かかります。

BBQ料金(税込) (定員44名)
大人 1,650円 → 1,485円
子供(小学生) 825円 → 743円
 食材、飲み物、皿、炭等は
 お持ち込み下さいね！

カヤック・BBQは **12月31日**までのご利用となります。
 [お申込期限]
 カヤック・クルージング **12月31日まで**
 BBQ **2日**まで

※ご予約はQRコードよりお申し込みください！



ご予約はQRコードよりお申し込みください → 

※ご予約の段階では利用希望日は確定となりません。
 ご利用の詳細につきましては「海の中道マリーナ&テニス」にお問い合わせください。





海の中道マリーナ&テニス
☎ 092-603-2221

<定休日>
 4月~11月 火曜
 12月~3月 火曜・水曜
※定休日が祝日の場合は翌日が定休

2021年度の取り組み 【環境学習】

◆環境局ごみ減量推進課との連携

○ラブアースクリーン活動 北海岸の漂流ゴミの回収

※コロナ禍によるイベントの中止 次年度6月に予定

○環境学習プログラムへの参加 長尾中学校での取り組み

SDG s の学習 海洋ゴミ問題 プレゼン発表会・ポスター作成



2021年度の取り組み 【癒し】

◆展示物による施設の充実

○流木アート・漂流ゴミ（ジャンク）アートの制作

※臨時休所に伴う空き時間の有効活用



◆健康増進プログラムの充実

○パークテレーリング・ウォークラリー・志賀島ハイクの研修
実施コース 地図の見直し 危険個所の確認

2021年度の取り組み

◆夢授業への参加

- 福岡キャリア教育研究会主催
青少年自然の家の仕事紹介

◆企業研修利用促進

- 少子化などに伴う利用の減少

【学びの充実】

キャリア教育の一環
日佐中学校・平野小学校
青葉中学校



2021年度目標 第3ステージ（第2期4年目） “飛躍の年” ～さらなる実践と改善～

◆目標数値達成

- 利用者目標 70000人 延べ利用者数
- 利用者満足度 95% 総合満足度
- 職員満足度 面談実施・意見を出し合える場

◆継続と挑戦

- 出張自然教室・ブース出展 9件（出張・出前）3件（ブース）
- SNSフォロワー獲得 600件（FB） 200件（インスタ）
- 公園機関・地域との連携 2件（新規）

ご清聴ありがとうございました。

公園事務所・公園関連機関・地域との連携を図り、利用者様に信頼され社会に貢献できる施設を目指します！



【海の家 F B & インスタ】



海の家SNS登録で
カッターマンステッカープレゼント！